

会議名 第2回学校運営協議会 議事録

場所 大阪府立佐野支援学校 視聴覚室

日時 令和5年11月29日(水) 10:00~12:00

テーマ テーマ「ICTの利活用に関する取り組みについて」

- (1) 開会(校長挨拶)
- (2) 授業見学
- (3) 協議
「ICTの利活用に関する取り組みについて」
- (4) 報告
 - ア 令和6年度教科書採択について
 - イ 学校評価アンケートについて
 - ウ 令和5年度学校経営計画の進捗状況について
- (5) 意見交換・まとめ
- (6) 准校長あいさつ

出席者 後上鐵夫 委員(会長) 古谷秋雄 委員(副会長) 樋口 力 委員 清時 綾 委員
松浪校長 稲田准校長 久井教頭(司会) 岸田教頭 菰田首席 高橋首席
橋岡首席 尾藤小学部主事 山下高等部主事(記録)

概要 年間テーマに沿って、各協議内容について本校の教育活動を行っていく上での各立場からの意見交換を行った。

授業見学の感想、協議内容及び報告について質問・意見

- 電子黒板を活用した授業の「すべてが答えになる」取り組みは一人ひとりの感性が反映されている良い内容であった。
- 行事の活動は普段と違い不安定になりがちだが、教職員のサポートを受け入れながらうまく取り組んでいる。子どもたちの力が将来の就労に結びつくように取り組んでほしい。
- ICT機器は視覚支援にも有効であるが、使い熟すまでに時間がかかることや専門的人員の確保やメンテナンス等が必要となる課題もあるが積極的に利活用することを願う。
- 児童生徒の学習レベルに合わせて、通常の教科書を使った学習もできるのではないか。
- 大阪府での人権侵害事例があがっている。やらなければならないと思う活動でも、安心安全が保障できなければ活動を止めるべきである。
- 地域の学校と連携をしっかりと取りながら交流がすすめられている。
- 働き方改革を進める中で、特定の教員に負荷が集中しない取り組みを検討すべきである。
- メールでの欠席連絡など、ツールを使って教職員の負担軽減をすすめてほしい。
- 就労先の変更や引きこもり状態などの卒業後の現状に対し、学校だけでなく行政のサポートも必要である。働き続ける力をつけてもらいたい。
- 自立活動の指導を進めるにあたって、保護者からの合意形成が必要である。

まとめ 働き方改革を進め、集団として仕事・業務を分け教職員が効率よく仕事に取り組む。教職員自身がリフレッシュし、子どもたち、保護者をサポートする学校のムードづくりをしてもらいたい。子どもの実態把握をし、保護者と話し合いながら1年間進めていけるように取り組んでもらいたい。